



サケ・焼酎・
日本ビール・
日本ウイスキー

in Barcelona と、モロッコ



@2012

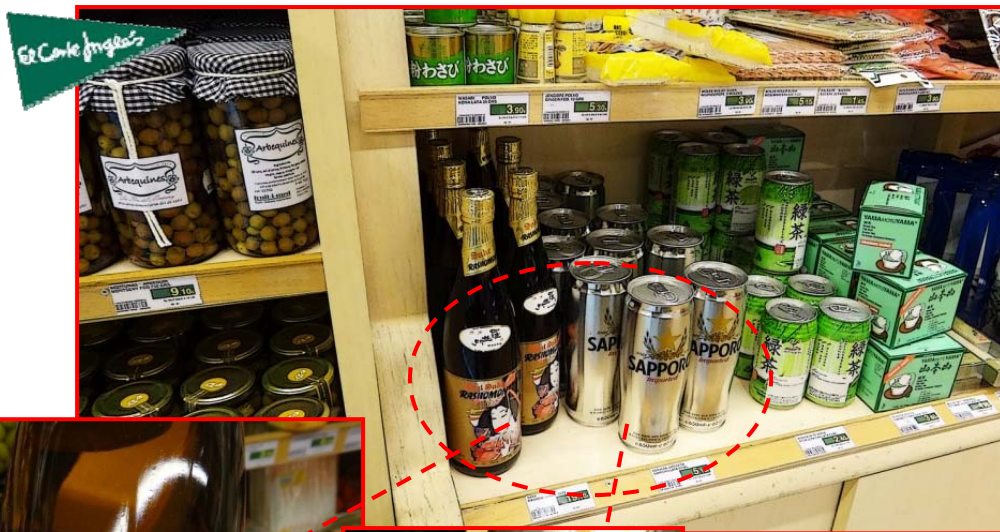


- ガウディの聖家族教会のあるスペイン最大の商業都市、バルセロナ。試みに「トリップアドバイザー」で日本食レストランを検索すると 101 軒も出てくるけれど、日本人が経営するのは、そのうちの 10 軒程度だと思います。
- 限られた日程で一軒だけしか行けない。「Tapas Japonesas (日本のタパスおつまみ料理)」というタイトルに惹かれて、「居酒屋 BOUZU」(地下鉄サンアントニ駅近く)を選び、飲みに行きました。日本人経営のお店です。
- 清酒は「大関・辛丹波(seco)」「久保田(suave)」の 2 種。焼酎は「麦(Cevada)」「芋(Batata)」の 2 種で、銘柄表示はなし。ビールはキリン(ドイツのヴァイヘンシュテファン醸造所製)。サケ・焼酎の銘柄がもう少しほしいところだけれど、異国の地で味わう日本のタパスとお酒は格別。



- 小売店の状況はどうなっているのか？ スペインで一番有名なデパート、「エル・コレテ・イングレス」の広大な酒売り場には、清酒・焼酎を通じてただ 1 銘柄のみ、「白鹿」がありました。洋酒の群れに忽然とただ 1 種の清酒。750ml で 9.89€。





- バルセロナの「エル・コレテ・イングレス」には、メインの食料品売り場とは別に、食通向け食材専門の「グルメ・クラブ」売り場があって、小さいながらも日本食品コーナーがある。お茶、ワサビ、ワカメなどと並んで、清酒の「羅生門」(19.10€)と、「サッポロビール」(カナダのスリーマン製、650ml で 5.10€)がありました。
- 「グルメ・クラブ」のウイスキー売り場には、サントリー「響・17年」(92.75€)とニッカ「余市」(102.50€)がありました。日本の財務省貿易統計によればスペイン向けのウイスキー輸出はこの3年間ゼロ。多分、フランスか英国から入るのだと思われます。



(番外編) モロッコ



- 今回はスペインでなくモロッコが主目的地。(写真は首都ラバトの「ハッサンの塔」と騎馬衛兵) モロッコ全土に十数軒の日本食レストランがある。今のところ日本人のお店は一軒もないが、近々カサブランカに日本人シェフが「囲炉裏」というお店を開店するそう。
- ガイドブック「地球の歩き方・モロッコ」に唯一掲載される日本食レストラン、ラバトの「MATSURI」(フランスの回転すしチェーン)。メニューにお酒は記載されていないけれど、頼むと「松竹梅」が出てきました。

- モロッコはイスラムの国。イスラムは禁酒を義務づけているけれど、モロッコでは結構飲酒する人もいて、中部のメクネスという都市はワイン生産地として有名。
- モロッコ最大のワイナリー「ZNIHER VINEYARDS」を見学しました。パレンクのハーベスター、並列3連の選果コンベア、プーハー搾汁機という最新鋭設備。ワインメーカーはモンパリエ大卒のフランス人。ワイン品質も、なかなか大したもの。